

2020年8月31日

金属産業新聞(6面)に掲載されました

部品供給機 RV-1200

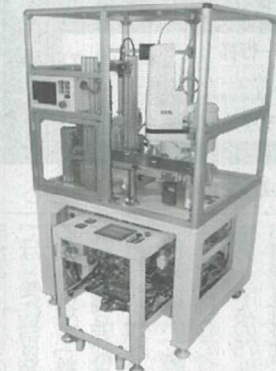
ロボットビジョンを搭載

検査・袋詰め・組付けの省人化

日東公進

日東精工(株)(京都府綾部市、材木正己社長)の連結子会社である日東公進(株)(京都府綾部市)はロボットビジョンを搭載した部品供給機を開発して、このほど発売を開始した。異品選別や整列の自動化、組付け装置やオプションの包装機との組み合わせで、組立・検査・袋詰め作業の省人化を実現する。

画像認識してピッキング



RV-1200 (包装機はオプション)

同社は1948年に創業。30台以上の加工装置と5台の測定装置を持つほか、クラス100000のクリーンルームを完備。こつとした多彩なモノづくり体制で、省力化機械、電気・画像システムを得意技術に、包装機器や検査装置、自動化装置を事業展開している。

ワークとして金属類だけでなくプラスチックやゴム、金属とプラスチックの組付け素材などが増

えている中、整列に用いられるパーツフィッティングは得意とする画像システムを用いてワークを不定位な姿勢から取り出しが出来ないか検討を重ねて

していなかった。同社では得意とする画像システムを用いてワークを不定位な姿勢から取り出しが出来ないか検討を重ねて

きた。

今回開発した部品供給機のRV-1200はベルトコンベア上をランダムな姿勢で流れてくるワークを異品検査した後、トレー詰めや袋包装をしたり、必要な部品だけを画像認識してロボットでピッキングしたりすることが出来る装置。

上に貢献する。
RV-1200
供給方法 | コンベア搬送中のワークを画像認識しスカロボットで取出し・供給
ピッキング | 吸着ヘッド / エアチャック
能力 | 最大10個 / 分
概略寸法 | 1000 (W) × 1300 (D) × 2000 (H)